

2018年4月

学園通信



帝京ロンドン学園
Teikyo School
Framework road,
Wexham,
Buckinghamshire
SL2 4QS

入学式 4月13日(金)

式辞 校長 中山 理

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。帝京ロンドン学園を代表して、皆さんを歓迎致します。また、ご列席の保護者の皆様にも心よりお慶びを申し上げます。

本日は、2018年度の入学式を挙げるにあたり、ご多用中の処、在英国日本国大使館の宇山秀樹総括公使兼総領事様、近隣の教会のAndrew Parry 牧師様、帝京大学ダラム分校の今関雅夫 校長先生のご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

今朝は少しひんやりとしていましたが、学園の木々は青々と若葉が芽吹いていて、穏やかな春の佳き日になりました。本日は、これからの3年間のスタートである記念すべき日です。この輝かしい門出に当たり、皆さんに考えて欲しい事について少しお話をさせていただきます。

皆さんは高校生になりました。そしてイギリスにきました。高校生は中学生と違い、少し大人に近づいてきましたが、まだ大人ではありません。大人の悪い真似をするのではなく、良い大人を見習って将来立派な人になるようにこの学校でしっかり学んでください。

また、イギリスは皆さんもご存知の通り、議会制民主主義を始めた国であり、産業革命で世の中を変えた国でもあります。スポーツでも、テニスやサッカー、クリケットなど世界で初めてやり始めた国であり、新しい事をいろいろ生み出してきた国です。この国から学ぶべき点は多いと思います。イギリスの魅力は自由で現実に対して柔軟であると言われていています。民主主義に基づく競争こそが活気ある公平な社会を作るとの信念を抱いていることにあると思います。

イギリスは、古くからある伝統を大切にする一方で、新しいものをどんどん生み出していく力強さも感じます。昔の人は鳥のように空を飛びたいと思った事でしょう。海の深い所にも行きたいと思ったかもしれません。遠くにいる人と話をしたいと思ったかもしれません。それが今は飛行機もあります。潜水艦もあります。携帯電話やスマートフォンもあります。昔の人の夢見たものはその後の人達が考えて作り、それをまた改良して過去の夢を今は実現しています。現在、こうなればいいと思うことが、将来はそうなるかも知れません。でもそれは誰がするのでしょうか。今の人やこれからの人です。いわば君達です。君たちは将来の事を考え、その為にも勉強するのです。今の君たちも自分の夢に向かってじっくり考えて行動に移して行ってほしいと思います。どの人にもいろいろな夢があると思います。それぞれの人の夢に向かって逃げずに考えて欲しいと思います。今後自分はどうのように進みたいのか、自分の夢は何なのか、自分はどのような人になりたいのかと先生や友達と話し合っ、今の歳で、この地でしか出来ない事を考えて、この学校で学んで良かったと思えるようになっていただきたいと思います。

私たちが大切なお子様方をお預かりして、この学園で学ばせて良かったと思えるように、職員一同、肝に銘じて見守りたいと思っております。どうぞ安心ください。本日のご入学、おめでとうございます。



来賓よりの祝辞

Stoke Poges 教区の方々とは、Evening Activity、ユースクラブ、スカウトなどの活動での交流の他、教会の落ち葉拾いの手伝いや戦没者追悼式への出席など、様々な機会を通して親交を深めてきました。

アンドリュー・パリー牧師による祝辞（訳）

ストークポージーズチャーチと帝京ロンドン学園は長い間同じ地域にありましたが、お互いに接点はなかったように思います。生徒が地域のためにお手伝いができることはないだろうかトリチャード先生が話を持ちかけてきてくれたことで、交流が始まったことは嬉しいことです。これもひとえに仲介役をしてくれたユースクラブの隊長であるトレイシー・ジョーンズさんのおかげです。本日は英国内にいないために、出席することができませんでしたが、このスピーチを書くのも彼女がお手伝いをしてくれました。

皆様はご存じでないかもしれませんが、ストークポージーズチャーチには二つの建物があります。一つはセントアンドリュース教会で、毎日様々な行事が行われています。もう一つはセントジャイル教会で、この建物は千年前に建てられました。

帝京ロンドン学園との関係は、まずユースクラブ集会の時の日本文化紹介やスポーツの交流から始まりました。その後、帝京の生徒さんがユースクラブのメンバーとともに教会に来てくれて、バドミントンやバレーボール、室内ホッケーなどのスポーツに参加してくれました。売店販売のお手伝いをしてユースクラブのメンバーと語らいました。それから教会の落ち葉拾い活動に参加してくれたこともありました。帝京ロンドン学園の生徒たちの熱心な努力と笑顔のおかげで作業が随分はかどりました。そして作業の後は皆でココアとケーキを楽しくいただきました。

セントジャイル教会では終戦記念日に大切な記念式典があります。戦争で亡くなった方々を思い偲ぶため、村の人々がこの教会に集まる行事です。毎年村にある全てのスカウトやユースクラブのメンバーも盛装して参加しています。昨年のは帝京ロンドン学園の生徒さんと先生も参加してくれました。若者がこういった式典に参加してくれることは本当に素晴らしいことだと多くの人々からコメントをいただきました。

昨年の帝京ロンドン学園の文化祭に教会のメンバーの人々がご招待をいただき、日本文化を学び、生徒さんとお話できました。その文化祭の収益金の一部を教会の若者の活動費として寄付をしてくださいました。

私どもは帝京ロンドン学園との絆が深まっていくことを非常に嬉しく思っております。ここにご入学の新入生も含め、更に多くの生徒さんが地域の活動にかかわってくれることを心より願っております。

入学式にご出席いただいた来賓の方々

在英国日本国大使館 総括公使兼総領事

宇山 秀樹 様

Stoke Poges Parish

Reverend Andrew M Parry 様

帝京大学ダラム分校

校長 今関 雅夫様

(宇山様、Parry 様よりご祝辞を頂きました)



後援会会長よりの祝辞

後援会会長よりご祝辞をいただきました。

新入生の皆さん、帝京ロンドン学園へのご入学おめでとうございます。

皆さんは「セレンディピティ」という言葉を聞いた事がありますか。これは「求められていない、意図的ではない、思いもよらない、幸運な偶発的に起こった出来事や経験」の事を言います。しかし私はこれを、単なる「幸運な話」ではないと思うのです。チャンスは準備をしている人に訪れるものです。自分を成長させる偶然、幸運をただ待つのではなく、迎えに行く、掴みに行く心の構えが必要だと思います。

ここイギリスでは、日本にいたら見る事も、聞くことも、感じる事もなかったような様々な経験が出来ます。でも、それをどれだけ素晴らしいものにするかは皆さん次第です。ただなんとなく毎日を過ごしていたら、自分を成長させてくれるチャンスを見逃してしまうでしょう。3年後の自分はどうありたいかと想像し、それに向けて努力を惜しまなければ、沢山のチャンスを手に入れる事が出来るはずで

す。また、その手助けを学園の先生方は親身になってしてくれ、応援してくれます。ぜひ皆さんの「セレンディピティ」のために、一日一日を大切に過ごして下さい。保護者の皆様には、お子様方が健やかに成長され、高校入学を果たしましたこと、心よりお祝い申し上げます。異国の地でお子様を一人学ばせる事に心配で不安を感じていることと思います。しかし、その心配を上回る成長に驚くことでしょう。楽しみにしててください。

後援会は皆様と共に、子どもたちを見守っていく事をお約束して、お祝いの言葉と代えさせていただきます。

生徒会より歓迎の言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

イギリスは議会政治発祥の国であり、産業革命以降は経済で大きな発展を遂げ、またテニスやクリケット、ラグビーといった様々なスポーツが作られた国でもあります。それは古い歴史と伝統に支えられた国であると同時に、新しいことにもチャレンジしてきた国であるということです。この地で一緒に学べる皆さんを歓迎したいと思います。

本校はイギリスにあるという立地を生かし、様々な経験をすることが出来ます。国際交流やホームステイ、ヨーロッパへの海外研修など、日本ではできないことばかりです。しかし、何事にも自分から積極的に動かなければ、何も始まりません。普段の学校生活でスタッフの方や ISCA の人、周囲の方々に英語で話しかけるなど、毎日の積み重ねが将来役に立ってくるはずで、これからのイギリスでの生活で意識して欲しいと思います。

また、それに伴い、普通の高校生の何倍も苦勞し、悩むことと思いますが、心配はいりません。なぜなら、ここには親身になって話を聞いてくれる先生方や私たち二、三年生がいるからです。少人数のクラスや寮生活、たくさんの学校行事でお互いの仲も深まることでしょう。辛いときは、周りに頼ってみてください。

そして、いつどんな時でも感謝の気持ちを忘れないでください。本校で過ごすことにより、周りへの感謝の気持ちを実感することでしょう。特に保護者の方への感謝が大きいと思います。同時に一緒に過ごしていく友達や先生方への感謝を忘れないでください。感謝の気持ちは、関係が身近になればなるほど忘れてしまいがちです。そして言葉にしなければ伝わらないこともあります。改めて考え、感謝の気持ちを伝えられるといいと思います。

最後に、在校生一同、これから始まる新入生の皆さんとの学園生活を楽しみにしています。本日は、誠におめでとうございます。

Congratulations to all the new students and their parents and welcome to Teikyo School. I am the president of the student council.

Everyone here has chosen to live away from their families and away from Japan. I think you must be full of expectation but also anxiety about what the future holds for you. We also felt the same on our first day. I'd like to reassure you that from today you will be spending time together with us as one big family. Please don't hesitate to ask for help when you need to and we will do our best to help you solve any problems.

You have chosen to spend the next 3 years in Britain. You will not get an opportunity like this many times in your life. You will have countless chances to meet British people and experience British culture through homestays, clubs, exchanges with other schools and volunteer work. On top of that, you will have chances to visit other countries in Europe.

Your first thought may be "But, I don't speak English" and, of course, you will have difficulty communicating and you will make mistakes. However, former British Prime Minister Winston Churchill once said "Success is stumbling from failure to failure with no loss of enthusiasm." It is my belief that I have grown by following Churchill's words and living life without fear of failure. Everyone please be bold in your studies and your life. See failure as a chance to learn and improve. You can do it at a Teikyo School because there are classmates and senior students who will overcome difficulties together with you. There are teachers who are supporting and watching over you. Please do not forget that you are not alone. Today you start your new life at Teikyo School. I hope the next 3 years will be a wonderful experience for everyone. Once again, congratulations and welcome.



新入生代表挨拶

校長先生、先生方、職員の皆様、そして先輩方、本日、私たち新入生は帝京ロンドン学園の一員として、お世話になることとなりました。わからないことだらけで、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

私は中学を卒業するまで、両親の元で日本の学校に通っていましたが、自立して寮生活をする、慣れない海外で生活することにとても大きな不安がありました。

しかし、「英語を上達させたい、日本で経験できないことを、この高校で経験したい」という気持ちが私の中に前からあって、帝京ロンドン学園に入学が決まった時には、不安より期待の方が大きくなりました。

高校での一日一日を大切に過ごし、時には同級生と助け合いながら、時には先生方、職員の皆様、先輩方、地元の方々に様々なことを教えていただきながら、英語力を磨き、英国の歴史ある文化を学んでいき、将来につながる国際的な感性を身につけていきたいと思っています。

最後に、こちらでの生活を応援してくれている家族に感謝をし、帝京ロンドン学園を卒業する時には、成長した姿を見せられるように、精一杯、高校生活を頑張ります。

Good morning. I am representing the new first year students.

Today we are very glad to enter Teikyo School. These three years will be an amazing and exciting time for us. Every day will be a challenge and we will learn something new. Sometimes we may be confused and I am sure we will make mistakes. However, we will make as much effort as we can to achieve our aims and dreams.

While we are here, we want to experience things that we don't have a chance to experience in Japan. We want to learn about English culture, history and, of course, improve our English skills. This knowledge will certainly be useful for our future.

I am sure that there will be many positive things but also some negative things over the next 3 years. It is important that we help and support each other. No matter how hard things are, we must always try to overcome them by speaking with each other and asking for help when we need it.

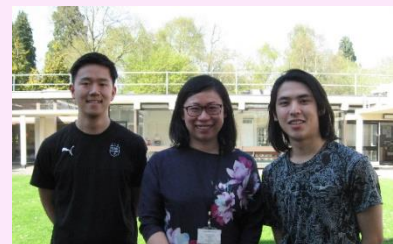
Finally, we would like to say thank you to our parents for giving us this opportunity to study in Teikyo School.

Thank you for listening.



式の最後に、学園内で生徒の生活のサポートをしてくださるスタッフ（事務、クリーナー、庭師、電気技師等）の紹介がありました。

学園の日々より



先日、本校卒業生の二人が訪ねてくれて、サッカー部と一緒に練習をしました。

遠足 4月17日(火)

1年ロンドン市内観光バス



通常の授業が始まる前に、新入生はロンドンツアーに出かけました。学園からバスでマープルアーチまで行き Oxford Street, Carnaby Street, Piccadilly を皆で歩いてトラファルガー広場まで行って昼食を取りました。皆で騎馬兵を見た後、またバスで London Bridge にある Borough Market(バラ市場)まで行って自由時間を取った後、Tower Bridge の跳ね橋まで歩きテムズ川を渡り、ロンドン塔から観覧船に乗って国会議事堂まで戻ってくるという、ロンドン一周ツアーでした。たくさん歩きましたが、見る物聞く物が全て珍しく「本当にロンドンに来てるんだー。すげー！！」と歓声を上げて写真を撮っていました。この日は天気にも恵まれていて、跳ね橋も青空を背景に本当に見事な景色でした。今回は初めてクラス全員での外出でしたので、クラスメートの性格を再確認しあったり、友情を更に深めたり、新しい仲間を発見したりすることの出来たツアーでもありました。また今回は有名な店や名所を横目に通り過ぎるだけのツアーでしたが、今後授業でも出かけることもありますし、3年間滞在中に自分たちでも出来るだけ多くの場所を訪ねて、イギリスを満喫して欲しいと思います。(久保)



遠足

私はこの遠足で高校生活について深く考えることができました。やはり知らないことを体験することは怖いと感じますが、一日クラスメイトと一緒に行動して二つのことを思いました。

一つ目は、笑顔が多いクラスだな、ということです。あまり日も経っていない中でこれだけなじんでいるのは本当に驚きました。これからの高校生活が左右されるであろうクラス仲も心配なさそうで良かったです。

二つ目は、英国についてもっと知ろうと思ったことです。ロンドンに出てみて、日本とは違う点がいくつもありました。建造物への思いや女王様や自国を大切にす姿はすごく印象的でした。

たった一日でしたが、クラスメイトのこと、これからのことを色々考えることができた、とても充実した遠足となって良かったです。

イギリス

今回行ったロンドン遠足で、私はイギリスは不思議な国だと思いました。私が抱いていたイギリスのイメージは、金髪の白人がたくさんいる国でした。しかし、実際に行ってみると、私のイメージしていた白人の人よりも、イスラム系の人やアジア系の人が多かったです。イギリスという国自体も、かつて植民地にしていた国との連合国で、本来多くの文化が入り混じっている国です。しかし、私はイギリスはヨーロッパだけの国だと思っていました。私の身の回りにもそう考えている人が多く、だから、イメージと違う、不思議な国だと思いました。

ただ、カーナビーストリートの様な、イメージ通りの場所もあり、様々な表情を持つ国だと思いました。これから3年間過ごしていく中で、もっと多くの表情を見たいなと思いました。

2・3年ロンドン観光



2、3年生はセント・ポール、ミレニアムブリッジ、テートモダンを見学しました。セントポール大聖堂はクリストファー・レン設計の英国国教会の教会で、今回は美しい身廊を見てから階段を上がり、ささやきの回廊を抜け、一番頂上からテムズ川や広がるロンドン市内を眺め、地下にある納骨堂ではトラファルガーの海戦でナポレオン率いるフランス・スペイン連合艦隊を破ったネルソン提督や、設計者であるクリストファー・レン、ペニシリンを発見したアレキサンダー・フレミングの墓などを見学しました。その後、テムズ川にかかるミレニアムブリッジを渡って、川の向こうにあるテートモダンで、午後のひと時の芸術鑑賞をしました。生徒の作文を読むと、イギリスの歴史・文化の重厚さに圧倒されたり、様々な芸術に自分の内面に深く思いを馳せたりした様子が分かります。今後はグリニッジにある海事博物館でトラファルガーの海戦の様子を学習したり、ポーツマスではネルソン提督の旗艦であったビクトリー号の見学も検討しています。歴史の中の出来事を点として、その点を結び、線とし、さらに面としていく学習をぜひイギリスで行っていききたいと思います。(谷地館)



芸術とは

テートモダンという美術館を訪れた。

中に入ると、一つ一つの作品が何かを訴えているようだった。一つの作品から出てくるストーリー、その作品の感情。自分が吸い込まれていくような感覚だった。

なかでも私の足を長く止めたのは、バレエの服を着た黒ずんだ女の子の作品だ。何かを物語っているあの表情は鮮明に覚えている。バレエをしても楽しそうではない。でも、悲しいわけでもない。自分のその女の子になったような気分だった。

作者がその作品から何を伝えようとしたのか、どんなことを思っ
て作ったのかもわからない。だが、見た者がそこから何を感じ取るのか、どんなことを思いながら考えながら見るのが、芸術の面白さであり、素晴らしさだと思う。

惹きつけられる心

様々な現代アートの作品が展示されている中、ひと際興味深い作品があった。興味深いといっても、面白そうとか悲しいといった気持ちになる作品ではない。ただ一つ言えるのことは、ほとんどの人がその作品を避けるように見ていたことだ。私はそこに興味を引かれた。

暗い部屋の中にプロジェクターで映し出されているのは永遠にループしている映像。それは男性の顔がひたすら回り続けるものだった。これを見ると不安な気持ちになり、その場には居たくなくなりそうだった。その反面、この後に何が起こるのか気になった。不安な気持ちと興味が混ざり、その作品から目を離せなくなってしまった。

作者はあえて、入りにくい環境を作り、入ってしまったら出なくなる中毒性を持たせたとと思う。人間の心をよく読んでいる作品であると感じられた。

セントポールからの眺め

私が一番感動を受けたのはセントポールの上からの景色です。今までに感じたことのない景色の見え方がありました。

ロンドンには一昔前の古風な建物と、それとは対照的な近代的な高層ビルの二種類が両立していて、一見アンバランスに見える町の風景も、何時、どういう目的で建てられたかを考えながら眺めていると不思議と調和のとれたバランスのいい配置のように見えてきました。過去と現代の調和を現わしているような場所に行ったことも、セントポールに登って感じた調和の美しさも、今までの人生で経験したことのないものでした。

これからも名所や絵画鑑賞で、新しい見方ができたらいいと思います。そして二年間のイギリス生活でもっと多くの名所に行き行って様々な事を学びたいと思います。

芸術の感じ方

私は先日学校行事でテートモダンを訪れた。私は進んで芸術作品を集めたり、鑑賞をするような性格ではないが、学校行事ということもあり、見聞を広めることも兼ねてしっかりと作品を見て回ることにした。

大きな絵画がたくさん並んでいるのを一つ一つ見ても美しいと感じるところか、奇妙だ、不思議だと思うものばかりであり、中にはただ絵の具を塗っただけのようなものもあった。

しかし、その一つ一つが印象深く、心に残るものばかりであり、今考えると、芸術と美しさを同義で考えていた自分をナンセンスだと思う。芸術品の作者だけがその作品の真意を知るのであり、その真意に思いを馳せることが芸術鑑賞の楽しみ方ではないのか。芸術とは感覚であり、絵画であれ、作品であれ、作者の意図を含んでおり、その意図を考察することが芸術鑑賞の醍醐味だと気づかされた一日だった。

春休みのホームステイ&語学学校レポート

希望する生徒が春休みに、現地校(Burnham Grammar School)&ホームステイ、ブライトンでの語学学校&ホームステイに参加しました。日本へ帰国せず、英語漬けの毎日を送っていた生徒もあり、新学期に成長した姿を見ることができました。



Ko3 I went to Burnham Grammar School for the third time. It was a great opportunity to meet friends who I had got along with before. In addition, I met new friends who are the same age as me. I really enjoyed chatting with my friends and hanging out in free time. I took part in more than 5 lessons including math, English literature, physics, chemistry, biology and economics. The most impressive lesson was sociology. In that lesson, I learned about business around the world and had some discussions. The teacher talked about Japanese commerce and culture. Although those stories were familiar to me, some of them seemed to be surprising for English students. In the lunch time, I went to TESCO with my friends to buy something to eat. Students of BGS were so kind to me so I had an amazing time.

I had a precious experience in a diverse mix of people and culture.

I went to Brighton for two weeks. I did a homestay with a British host family. At my host family's house, I watched films with the host family after dinner and I taught their daughter the Japanese alphabet.

I went to The English Language Centre which had students from all over the world. I studied general English in the morning and English for IELTS in the afternoon. Every student in my class was older than me and, most of them were coming to England after finishing college studies. They knew lots of expressions that I did not know. After leaving school, there were activities and I had an opportunity to play football with my friends in ELC. We enjoyed it so much. I remember the climate was warm and scenery of Brighton was attractive.

I think my English skills has improved rapidly. I was really happy to have such an opportunity.

Ko2 I did a homestay in Brighton for a month. I attended a language school. I made friends from various countries at school. For example, Turkish, Brazilian, Saudi Arabian and so on. I have become very close friends with Brazilians. I had to talk to my friends in English, so it was serious. However, English improved day by day. I also positively talked from myself with my host family. The host family was very kind and gentle. I have started to speak English from myself in this month. Thanks to that, I went out with friends from various countries and ate out. I have been able to grow very much in this one month. I also wanted to be able to speak English more. I also want to use English on a daily basis. I also want to have a homestay. I had a very good time.

Ko2 I did a homestay for 2 weeks in Brighton. I could talk with many people who are from foreign countries in English. I cannot speak English well, but I did not have to worry about it. Because my language school students spoke to me kindly. They are older than me. So, they talked to me like I was their sister. When I was not able to understand what teacher said, they taught me gently. Also, Brighton has beautiful sea and a lot of shops so I can enjoy shopping. So, I could enjoy after school. This homestay which was in Brighton was a very good experience for me.

Ko3 I have been to Brighton about four times before. So I already knew about Brighton before going there. I heard that in Japan the sky is almost blue and already getting warmer, on the other hand, in England it was almost always cloudy or rainy. It depressed me and it is discouraging to go out. Fortunately, when I went home, I could see big rainbow. That was first time for me to see rainbow in Brighton. And also it happened twice while I was in Brighton. It made me feel good. So after that, I went out to take pictures. I took a picture with my film camera so I'm looking forward to printing my pictures. And I'm also looking forward to see my friends and teachers again too. I stayed only two weeks and a couple of days there, but I really enjoyed homestay.



Ko2 I went to Brighton to study English during spring holiday. First, I think one month is too long but it is not too long because during the homestay I was busy. When I went to ELC school, I cannot talk well but students were very kind to me. When I could not understand, they taught me.

Host mother taught me many things. For example, UK's history, English, manner and so on. She helped with homework and she likes Japan because her friend lives in Japan so we could talk about it.

I could learn many things in Brighton but I want to make more friends. If I have chance to go to Brighton or Cambridge, I want to do home stay again and I will try to talk with classmates more.



Ko2 I went to Brighton to learn English. I talked to lot of country's people. It's very difficult. Because, I am shy and I could not speak English well. But I want to speak English. So, I spoke a lot in English with my ELC classmate. I talked about Japanese culture. It was very good. I talked with Turkish and Colombian etc. The people discussed the country's culture, food and population. It was interesting conversation. I talked with my host family too. I spoke about my school and my family. My host family is very kind. Because, my host family taught me something about English. I was very happy about it. I enjoyed this home stay. I cannot speak English yet. So, I want to do my best. I would like to do a home stay in Brighton again.

Ko2 I went to Brighton and had a homestay and studied English. I went to Brighton for the first time. There is the ocean and shopping malls in Brighton. It is a beautiful city. I studied English for five weeks there.

At the language school I learned a lot of things. For example, daily conversation, how to call, how to make a reservation, and so on. There were students from other countries in the class ,so I learned a lot because they cannot speak Japanese.

In the homestay, the host family was kind and it was fun. There was a host mother, a dog and cat. I sometimes played cards with her after dinner. She taught me the rules. It was fun.

I stayed in Brighton for five weeks and I was able to learn a lot. Such as English, English culture, other countries cultures and so on. Finally I enjoyed my homestay very much.

Ko2 I joined FAB academy during this spring holiday. I was worried about relation with other players for the first week but, they were very kind and friendly. So, I could adapt to dormitory life. I was looking forward to eating lunch with my friend every weekend. In addition, training was very good. It was high intensity and high quality so I could improve ball control, fast decision and good composure. English lesson was also good and fun. But, I must study more. And, I was training in the gym everyday. The gym was perfect. I want to say Thank you for everyone. If I can, I want to go back again.

Ko1 I went to Oxford City in this spring and I went to Oxford City in last summer too. In last summer, I did a homestay first time in my life. I was very nervous so I didn't talk with them. But I talked a lot with players of Oxford City. I was so happy. And they remembered me and Koki. Second day, I had training so I met them after long time. They said that welcome to Oxford again. I was happy. I had training with nomads and U-16 and U-19. I like them because they have good technique and good intensity. I like to play football with U-16 and U-19. Because they are better than nomads. I had training in the evening which is U-16 and U-19. The training was hard but I learned a lot of things. I didn't have football match in last summer but I had two football match in this spring. I excited to play football match because I wore the Oxford City uniform. I excited so much. I played football match which is Oxford vs Toyama Daiichi. This team is top of Japan. We lost to them. But it was the good game. The score was 1-2. I played 30 minutes but I didn't lose physical. I felt my growing up. But it's not enough. I want to more improve and growing up. I learned a lot of things. The football camp was very good experience for me. I want to get top of Bucks. I'll do my best.

KO2 I stayed in Oxford again. I played football with Oxford city's member. And I attended a school. It was better homestay than last summer because I played football with plenty of player in there. For example, U16 and kids about 8 years old. U16 has a good skills and anxiety. So I got some skills and defending skills. In addition, I could make relationships with them. I watched a football match about once a week. I got better football than last summer. I felt in there but I have to get more physical and fitness. It was surprised for me because Oxford city is very better than last summer. So I looked forward to see the football match every week.

School was a good. There are some good teacher and students. I learned some new word and I improved listening skills. But sometimes I couldn't understand what saying some people. So I have to more study English.

Host family was so kind, funny and food was delicious. There is a man who is from Austria. He is friendly so we talked each other many time. It was fun for me to do it and I could make relationships with them.

When I stay UK next time, I want to go to a FAB academy. I will get more skills and be clever. I am looking foreword to stay UK next time.

サッカーコース・部より

明日から今年度の活動がスタートします。今年度は部員 19 名でスタートすることになりました。人数が増えてポジション争いも激しくなるので、個々が高い目標を持ち活動してもらいたいと思います。まだ 始まったばかりでチームという雰囲気は出ていませんが、これから時間をかけてじっくりとチーム力、個人能力を高めていきたいと思います。1 年生にとっては明日が初めての帝京ロンドンでの活動です。英語、プレー強度、天然芝、イギリスサッカーなど慣れないこともたくさんあるかと思いますが、チーム全員で協力して頑張っていきましょう。保護者の皆様には今年度も多方面でサポートをしていただくことがあるかと思いますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。(末弘)



本年度、寮監長を務めます。寮委員を中心とした寮生のみならず一緒に、あたたかい HOME 作りを目指したいと思います。どうぞよろしくお願いします。
(栗木)



男子寮 4月11日の開寮以来約2週間弱、新入生もすっかり寮生活に慣れた様子で皆元気にやっております。今年度1年生が2名、新しく寮委員に加わり、寮長、副寮長のもと7人の寮委員となります。今年度のモットーは「快適な寮生活」です。寮委員は寮生と学校とのいいパイプ役となり寮企画等新鮮なアイデアををくみ取り、文字どおり快適な寮生活を送れるよう頑張っていきたいと思います。(岩泉)



女子寮 本年度は7名の新入生を迎え、全員で18名で新学期をスタートしました。ここ数年でも最大の人数です。みなさんが快適に寮生活を送ることができるような空間作りをしていきたいと考えています。また、女子寮長から寮生活について話がありました。積極的に挨拶をする、共同のスペースは綺麗に使う、洗濯機の使い方など、お互いが気持ちよく寮生活を送ることができるように心がけていることを話されました。新入生も早く慣れ、寮がリラックスできる空間（ホーム）になってくれることを願っています。
(清木)

